

根室市議会議員 本田 俊治 様

会派名 日本共産党根室市議会議員団

代表者名 鈴木 一彦

政務活動報告書

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請 ・ 陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	① あかびら市立病院の経営の取り組み等について
期 間	2020年2月5日(水) 14:30~16:30
参 加 者 氏 名	日本共産党根室市議会議員団(鈴木一彦・橋本竜一) 無所属(久保田陽) 以上 3名
応 対 者	あかびら市立病院 赤平市議会 事務長 井上英智氏 議 長 若山武信氏 看護課総看護師長 鈴木瑞恵氏 事務局長 井波雅彦氏 看護課副総看護師長 白戸泰子氏 総務議事担当主幹 安原敬二氏
場 所	① あかびら市立病院 〒079-1136 北海道赤平市本町3-2 TEL0125-32-3211
行 程	2/5 根室市→(自家用車)→中標津空港→(飛行機)→新千歳空港→(レンタカー)→ ①赤平市(あかびら市立病院・視察)→(レンタカー)→旭川市(宿泊) 2/6 旭川市→(レンタカー)→②士別市(士別市立病院・視察)→(レンタカー)→千歳市(宿泊) 2/7 新千歳空港→(飛行機)→中標津空港→(自家用車)→根室市
内 容 ・ 成 果 等	① あかびら市立病院について、経営改善に向けた取り組みや成果等について報告を受けた。 平成18年度に赤平市の財政が危機的な状況となり、平成19年度では市立病院は29億4,936万円という莫大な資金不足であった。それでも多くの市民が病院を残してほしいという意見があり、病院を維持するために、経営健全化計画のもと、病床削減やそれに合わせた人員体制の削減、大幅な給与カットにより約2億円の削減を図る等の改革をすすめてきた。平成23年度に黒字化してから8年連続で(実質)黒字化を達成している。 そのために、経営や財政状況について十分な情報共有をはかり、病床稼働率95%以上とそれを達成するためのベッドコントロールを経営重点課題として、医師・看護師など医療スタッフと事務方が同じ方向を向いて、また市財政当局も一体になって改革に取り組んできた。 また市民も平成20年度から自主的に病院ボランティアとして、50名以上の方々がタオル畳みや病院案内のほか、患者食堂の運営に関わる等の積極的な取り組みを行っている。

2020年 2月 28日

根室市議会議員 本田 俊治 様

会派名 日本共産党根室市議会議員団

代表者名 鈴木 一彦

政務活動報告書

区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請 ・ 陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	② 士別市立病院の経営の取り組み等について
期 間	2020年2月6日(木) 09:30~11:30
参 加 者 氏 名	日本共産党根室市議会議員団(鈴木一彦・橋本竜一) 無所属(久保田陽) 以上 3名
応 対 者	士別市立病院 士別市議会 院 長 長島 仁 氏 議 長 松ヶ平哲幸 氏 事務局長 加藤 浩美 氏 総務課副長 前畑 美香 氏
場 所	② 士別市立病院 〒095-0048 北海道士別市東11条5丁目3029番地1 Tel.0165-23-2166
行 程	2/5 根室市→(自家用車)→中標津空港→(飛行機)→新千歳空港→(レンタカー)→ ①赤平市(あかびら市立病院・視察)→(レンタカー)→旭川市(宿泊) 2/6 旭川市→(レンタカー)→②士別市(士別市立病院・視察)→(レンタカー)→千 歳市(宿泊) 2/7 新千歳空港→(飛行機)→中標津空港→(自家用車)→根室市
内 容 ・ 成 果 等	② 士別市立病院について、経営改善に向けた取り組みや成果等について 報告を受けた。 高齢化と人口減少のなか、地域の医療ニーズに対応するため、療養 病床を導入し、急性期から慢性期・回復期への転換を図ってきた。そ れとともに地域センター病院の名寄市立総合病院との連携を強化し、 医療機能のすみわけを図った。脳血管疾患の患者を救急隊がトリアー ジして名寄に直接搬送するシステムや、大腿骨骨折患者の地域医療連 携パスの導入などにより、入院患者の増加につながった。収益が安定 向上した結果平成29年・30年度に1.5億円の純利益を計上し、一般 会計の繰入金も減少している。 病院長が先頭に立ってこれらの改革を推し進めてきた。また全国で も珍しい事務職が副院長に就任し、病院の経営面や改革推進で院長を サポートしている。医療介護の連携として市がワールドカフェの開催 やケアマネ連携シートの活用など情報共有の推進を図っている。 平成17年に28人の常勤医師が平成30年に8名になり医師体制の 確保は緊急の課題となっている。 病棟の看護助手の確保も難しく、業務負担軽減のために入院時の日 用品アメニティセットのレンタル業者が参入している。

根室市議会議長 本田 俊治 様

会派名 日本共産党根室市議会議員団

代表者名 鈴木 一彦

政務活動報告書

区 分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研 修 ・ <input type="checkbox"/> 広 報 ・ <input type="checkbox"/> 広 聴 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会 議
活動テーマ・目的等	北方領土返還要求中央アピール行動「アピール行進」
期 間	2019年11月30日（土）～2019年12月2日（月）
参加者氏名	鈴木一彦・橋本竜一
応 対 者	元島民ら返還運動関係者等 約500名
場 所	日比谷公園（野外音楽堂）～銀座外堀通り～鍛冶橋交差点（約1.6 ^{キロ} ）
行 程	11月30日（土） 根室市→中標津空港→羽田空港（東京都） 12月1日（日） 北方領土返還要求中央アピール行進参加 12月2日（月） 羽田空港→中標津空港→根室市
内容・成果等	根室管内の1市4町でつくる北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会（北隣協）が主催しているもので、戦後60年目にはじまって今年で14回目の開催とのことです。昨年は日ロ首脳会談を前に刺激しないようにという忖度なのか、タスキやハチマキを使用せず、「領土を返せ！」を封印していました。結局その後の領土交渉は何の進展もなく、今年は「返せ！」の言葉が復活しましたが、全体的にコールは「平和条約を実現しよう」等の柔らかいイメージになっているように感じました。出発式で元島民の決意表明として、「望郷の思い叶わず他界した多くの同胞たちの墓前に伝えるその日まで、返還要求の火を消すことなく、この無念の思いを希望に変え、皆様とともに北方領土早期解決の声を上げる」と述べられていましたが、その力強い迫力ある声が印象的でした。このような元島民の方々の思いに寄り添った外交交渉を進めることを政府に強く求め、そのことを強力に後押しする国民世論を広げていく決意をあらたにしました。



根室市議会議長 本田 俊治 様

会派名 日本共産党根室市市議会議員団
代表者名 鈴木 一彦

政務活動報告書

区分	<input type="checkbox"/> 調査研究 ・ <input type="checkbox"/> 研修 ・ <input type="checkbox"/> 広報 ・ <input type="checkbox"/> 広聴 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情活動 ・ <input type="checkbox"/> 北方領土対策活動 ・ <input type="checkbox"/> 会議
活動テーマ・目的等	丸山穂高衆議院議員の言動に対する抗議行動
期間	2019年5月30日～6月1日
参加者氏名	鈴木 一彦
応対者	衆議院議長、衆議院運営委員長、自民党幹事長代行内閣府特命担当大臣（沖縄・北方対策） 衆参両沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長道内選出国會議員
場所	衆議院議長室、衆議院第1議員会館、同第2議員会館 参議員会館、内閣府
行程	5月30日（木） 根室→中標津空港→羽田空港（東京） 5月31日（金） 抗議・要請活動（終日） 6月1日（土） 羽田空港（東京）→中標津空港→根室
内容・成果等	5月30日開館の緊急議会において、全会一致で採択された「丸山穂高衆議院議員の言動に対する厳重抗議と国としての今後の対応及び一刻も早い北方領土問題の平和的解決を求める決議」を、内閣総理大臣、衆議院議長をはじめ関係各位に届け、地元の声を直接伝えるために、根室市議会北方領土特別委員会の委員として議長とともに行動。 直接お会いできた方は、みなさん一致して丸山衆議の言動を批判。 また、衆議院議長と衆院議員運営委員会は、院所属の議員の言動について謝罪の言葉を述べた。北海道選出の国會議員に対しては、経過を報告。直接会えなかった際には秘書の方に対応していただいた。